

# 高校生 ICT Conference 2017

in 長野

高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT×（家族・学校・地域）～

## 開催報告書

2017年9月30日（土） 10:00-17:00

【会場】安曇野市明科公民館

主催

長野県教育委員会

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁

2017年10月12日



2017

## 目 次

1. 開催概要 .....	2
2. 高校生 ICT Conference 2017 地域開催 .....	4
3. 高校生 ICT Conference 2017 in 長野 開催概要 .....	5
4. 主担当 .....	14
5. 高校生 ICT Conference 2017 サミット .....	14
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会 .....	15
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応 .....	15

開催概要

名 称：	<p>高校生 ICT Conference 2017</p> <p>テーマ：高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT×（家族・学校・地域）～</p>
主催：	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長野県教育委員会</li> <li>● 安心ネットづくり促進協議会</li> <li>● 大阪私学教育情報化研究会</li> <li>● 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構</li> <li>● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会</li> </ul>
共催：	内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター
協賛：	グーグル株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリー株式会社、LINE 株式会社、インテグラル株式会社、エースチャイルド株式会社、一般社団法人情報教育研究所、Twitter Japan 株式会社、株式会社ベルパーク、株式会社メディア開発綜研
協力：	アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、特定非営利活動法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所、ストップイットジャパン株式会社
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&amp;活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。</p> <p>2015 年度は、石川、長野、神奈川、福岡を加えた 9 拠点にて開催し、計 78 校 310 人の高校生が参加しました。2017 年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに北海道帯広、仙台、静岡、新潟、高知を加えた 14 拠点にて開催し、計 107 校 476 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p>

	<p><b>【本年開催テーマのコンセプト】</b></p> <p>IT やインターネットは、その発明の理由は別としても、民間利用においては、これらの技術を用いることで、人々の生活や事業をより効率よく、便利に営めることを目的としています。情報技術に限らず、多くの発明品は同様の背景を持ちながらも、便利さゆえに、安易な利用や悪事への利用などにより、本来の目的にはすぐわない結果を及ぼすこともあります。今年度の高校生 ICT Conference では、私たちの生活を更により良くするために、どのように ICT を利活用すれば良いか、という視点でテーマを設定しました。当然ながら、有意義な利活用とは表裏一体で、負の側面についても配慮が必要であり、より心豊かな生活を実現するために ICT の利活用における「光と影」について、次世代を担う高校生が自ら考える機会とすることを目的とします。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面実施された。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
<p>開催の概要：</p>	<p><b>【各開催地での内容】</b> ※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p><b>【東京サミット】</b></p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p><b>【最終報告会】</b></p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
<p>各開催地 募集人員等：</p>	<p>募集参加生徒 30 名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）</p>
<p>参加参観方法：</p>	<p>参加費・参観無料 [要事前登録]</p>
<p>高校生 ICT Conference2017 実行委員会：</p>	<p><b>【委員長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長）</li> </ul> <p><b>【コアメンバー】</b></p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者団体訴訟室長）</li> <li>• 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所）</li> <li>• 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事）</li> <li>• 小城 英子（聖心女子大学）</li> <li>• 齋藤長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 総合研究所）</li> <li>• 他、関係者団体、事業者等</li> </ul> <p>【事務局】</p> <p>安心ネットづくり促進協議会</p> <p>〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階</p> <p>TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>
--	--

## 1. 高校生 ICT Conference 2017 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	開催日時	会場
地域開催	北海道（札幌）	2017年10月22日（日）11:00-17:00	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	北海道（帯広）	2017年10月15日（日）11:00-17:00	とちちプラザ
	宮城	2017年10月21日（土）10:00-17:00	東北工業大学 一番町ロビー
	石川	2017年9月23日（土）10:00-17:00	石川県教育会館
	長野	2017年9月30日（土）10:00-17:00	安曇野市明科公民館
	新潟	2017年8月17日（木）11:00-17:00	新潟コンピュータ専門学校
	東京	2017年10月7日（土）10:30-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2017年9月10日（日）10:00-17:00	学校法人岩崎学園
	静岡	2017年9月23日（土）10:00-17:00	静岡電子情報カレッジ
	三重	2017年9月30日（土）10:00-15:00	三重県庁
	大阪	2017年9月24日（日）10:00-17:00	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
	奈良	2017年10月1日（日）10:00-17:00	帝塚山大学 学園前キャンパス
	高知	2017年8月14日（月）9:30-16:30	高知県教育センター分館
	山口	2017年9月24日（日）10:00-17:00	サビエル高等学校
	福岡	2017年8月26日（土）11:30-17:00	都久志会館
	大分	2017年8月27日（日）10:00-16:00	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ
鹿児島	2017年8月26日（土）10:00-17:00	鹿児島大学	
東京サミット		2017年11月3日（金）13:00-17:00	東京電機大学 千住キャンパス
最終報告会		2017年12月中旬頃	（未定）

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。（サミット熟議のみ参加）※2016年度実績：沖縄、福井

## 2. 高校生 ICT Conference 2017 in 長野 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 106 名の参加者を得て、「<b>高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT× (家族・学校・地域) ～</b>」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>〈開会あいさつ〉 (長野県教育委員会 心の支援課長 小松 容氏) 長野県は今回で 3 回目の開催となり、昨年度より多くの学校が参加しています。今年のテーマは『高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT× (家族・学校・地域) ～』。他校の高校生同士で話し合えるこの機会に、皆さんのインターネットやスマートフォンへの接し方について改めて考える機会にしてほしいと思います。今日 ICT カンファレンスで話したことは是非学校内にとどまらず、県内へも情報発信することを期待しています。</p> <p>〈来賓あいさつ〉 (総務省信越総合通信局 情報通信部電気通信事業課 課長 中島 淳氏) インターネットは、その利用により、便利で不可欠なサービスになってきている一方で、様々なトラブルも起こっている状況にあります。本日は ICT カンファレンスという多くの学校を交えた熟議の場を生かして高校生が自らインターネットについて積極的に考え、話し合いを深めていただくことを期待しています。</p> <p>〈第一部：参加校発表①〉 最初に全参加校が事前課題について 2 分間で発表を行いました。 ・インターネットやスマートフォン利用や活用における利点（メリット）と問題点（リスク）について、身近なトラブルの事例など。 ・トラブルに対して具体的に学校で取り組んだ予防策や対策について。 ・高校生の考える「ICT の利活用を通じた豊かな生活」と、そのための取り組みについて。 <b>※各学校の発表内容は「高校生 ICT Conference 2017 長野大会一事前課題発表」資料を参照ください。</b></p> <p>〈第二部：アイスブレイク、自己紹介〉 その後グループ移動・自己紹介・アイスブレイクなどを実施しました。</p> <p>〈第三部：事業者講演〉 (株式会社サイバーエージェント 技術本部 CS 室 室長 中村 広毅氏) AbemaTV や AWA など提供するサービスを使った豊かな生活の事例、Ameba の安心・安全な利用のヘルプを参考に「個人情報の取り扱い」「著作権侵害の注意」「危険な行為の助長の禁止」「誹謗中傷禁止」など注意点と対処方法についてご説明いただきました。</p>
----	---

(一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構 代表理事付・理事 松原卓氏)

ネットの「光と影」と題して、ネットトラブルの事例、回避する方策について、お話しいただきました。ただ対策を覚えれば良いというのではなく、対応するための考え方や行動について、日頃から意識したり、議論したりしていくことが重要であること、どの様にしたらネットの「影」を「光」にできるんだろう?という点についても熟議してほしいという点についてご講義いただきました。

参加生徒は、各プレゼンの内容をしっかりメモしながら次の熟議に備えていました。各プレゼンの内容も 現在の問題点、今後の課題、これからの活用方法など いろいろなアイデアが盛り込まれていて大変有意義なものでした。

#### 《第四部：Conference①》

長野県教育委員会、長野県、総務省の方などがファシリテーターとなってグループ熟議を行いました。参加生徒はメモや付箋紙を活用しながら模造紙に貼り付けて意見を整理分類しまとめていました。発表はワールドカフェ方式で2ラウンド行いました。模造紙に整理した内容をもとにグループごとに発表を行い関係者が簡単な質問を行いました。参加生徒はしっかりと受け答えをしていました。

#### 《第五部：Conference②、発表》

学校ごとの席次に戻り、グループで話し合った事を共有した後、学校単位での発表準備（発表資料の作成と発表方法・発表者調整、練習）が行われました。その後、全参加校が4分ずつ提言発表を行いました。

(各学校の発表骨子は以下の通り)

#### 【長野県明科高等学校】

キャッチフレーズ：「ICTと地域のつながり」

導入として寸劇から入る

陰・デメリット

スマホ依存・・・歩きスマホの危険性（依存してついつい歩きスマホをする）  
授業中も使用してしまう

スマホ利用マナー・・・音楽を聴きながら歩いていると迷惑をかける

改善点

依存について・・・学校内では、授業前スマホ回収の徹底する、高齢者等地域の方、使い方がわからない人に対して、私たち高校生が教える

問題点解決のために自分たちが出来ること、今後やりたいこと

高校生が地域で講演会をする、全校で意識を統一したい、地域へPRする。

ツイッター、アカウントで知って貰いたい

〈Q質問〉 自分で意識的に行動を考える制限することは難しいが、小さい頃か

ら使ってしまうことに対してはどうすれば良いか。

〈A〉 小学生にも高校生が講演する

#### 【長野県長野東高等学校】

キャッチフレーズ：「NOメディアデイを作る」

心豊かな生活のために、犯罪に巻き込まれないためには、NOメディアデイの実施で解決出来る。特にネットメディアに触れる日をなくす。そうすることで…コミュニケーションがUPする（家族・友人）、勉強時間がUPする、睡眠時間がUPする  
NOメディアデイを学校で・家庭で行ってみる事を提案します

〈Q質問〉 学校でNOメディアデイするとしたら、どのようにしますか

〈A〉 生徒会と話し合って実施する

〈Q〉 あなただったらどの位の割合でNOメディアデイがあっても良いですか

〈A〉 月に2～3回なら出来ると思います。

#### 【長野県長野西高等学校】

キャッチフレーズ：「私たちから全校へ」

現状（デメリット）

依存、流出、勉強時間がなくなる

対処

利用時間を決めるアプリを入れる、文化祭でICTについての展示コーナーを作る、このような学習できる機会に参加する、参加したときは学校へ戻って伝える、生徒会が運営し、私たちの目線で、言葉で伝える

〈Q質問〉 「文化祭を使って」は、小さい子どもや高齢者にも伝えられてとても良いが、具体的にどんなふうに文化祭でやってみるのですか

〈A〉 自分たちの学校では保健展があるので、情報についてもまとめて発表するとか。パットでその場で実際に見てみるなど

#### 【松本工業高等学校】

キャッチフレーズ：「デメリットをICTで解決」

「学力の低下」「視力の低下」「依存」「犯罪に巻き込まれる」「ネットトラブル」などのデメリットを「時間を管理する」アプリやIOTを活用して解決するという提案をしました。アプリの使い過ぎという難しい問題もアプリでこそ解決できるのではないかという点を強調していました。

#### 【長野県茅野高等学校】

キャッチフレーズ：「～SMM（スマホ マイ マニュアル）作成～この中の3つを選ぼう」

「大事なことは直接伝える」「人との会話を増やす」「安易なラインの交換をしない」など、一人ひとりが自分で必要な3つのことを入れて、「スマホ マイ マニュアル」を作ることを提案しました。高校生が誰でもすぐ出来るという点を強調しま



した。

---

#### 【長野県駒ヶ根工業高等学校】

キャッチフレーズ：「スマホキャラバンにご協力を！」

「コマレンジャー同好会」では、地域のイベントでヒーローショーを行っていますが、その中で「ウィルス感染」等の実際の事例を紙芝居形式で紹介しています。小さな子どものみならず、保護者や地域の方からもわかりやすいと好評を得ています。今日のカンファレンスで学んだことを、地域や後輩、子どもや保護者に広げてほしいという提案をしました。

---

#### 【長野県松本蟻ヶ崎高等学校】

キャッチフレーズ：「思いやり」

I C Tを使うにあたり大切なものは、人として大切なこと「思いやり」です。そして、離れている家族ともつながることができたり、行事のお知らせや日常生活を発信することにより人と人のつながりを築くことで、明るい未来を創っていきましょう。ということを発信してくれました。2人だけの参加でしたが、かけ合いを交えた楽しい発表を展開しました。

---

#### 【長野県松本県ヶ丘高等学校】

キャッチフレーズ：「MCU」

I C Tに関して「MCU」というスローガンが紹介されました。

①M a k e（ルールを作る）

生徒がルールを作り、生徒の目線からトラブルや長時間使用防止の啓発活動を行っていく。

②C a l l（呼びかける）

トラブルや法律について知り、広めることで正しく使っていく。

③U s e（有効活用する）

情報量の多さやつながりの広さを生かして、有効に使っていく。

有効な利用法として単語アプリ、勉強法をSNSで情報交換するなどが例として上げられました。また、正しく知り、正しく判断するためには、大人や専門家、友人とのつながりが大切であることが指摘されました。

---

#### 【長野県松本美須ヶ丘高等学校】

キャッチフレーズ：「み・す・ず」

生徒会としては、月の出来事をまとめた新聞の発行、文化祭での情報コーナー、生徒総会で危険性の確認などを行う。ゲームやスマホに関してはゲームだけでなく勉強アプリを使う、親や友達と使用時間を決める、LINEよりも電話で話すことを大切にする。時間・人に関しては、スマホより家族や友達との会話を大切にするのが提言されました。また、有効な利活用として校内の出来事を地域にも発信する

こと、授業参観の後に親子で参加できる講演会を開き ICTについて共に学ぶ機会をつくるという取り組みが紹介されました。

松本美須々ヶ丘高校の「み・す・ず」にちなんだスローガンも発表されました。

「み」みんなが利用する、「す」スマホやインターネットを、「ず」ずっと楽しく利用しよう。

#### 【長野県高遠高等学校】

##### 1. スマートフォン利用のメリット

○家族間、友人間で連絡を容易に取ることができる。

○多くの情報を得ることができる。情報量が多い生活。

##### 2. スマートフォン利用のデメリット

○歩きスマホは危険。交通事故の原因にもなる。

○ICT（スマホ）によってすぐに情報が得られるので、自ら思考することが少なくなる。思考することなく、容易に答えを求めてしまう。

○人間関係のトラブルの原因になる。使い方によっては友達との関係が悪化する。

##### 3. 自分たちができること

○利用者がメリット、デメリットを理解することが大切。

○理解が進むような内容の授業があるとよい。

○今日の熟議や意見交換で経験したことを、学校に戻って生徒会として伝えたい。生徒会の活動として取り組み、広げていきたい。

#### 【長野県松川高等学校】

キャッチフレーズ：「人のために思って使えばみんな Happy になれる」

##### ○「個人」のレベル

どう使うか自分で考える。一人一人が心にとめる

##### ○「学校」のレベル

使用のマナー向上促進のための講演会を行う。マナー向上を呼びかける。

##### ○「地域」のレベル

家族で話し合う。ルールやマナーを決める。地域においてみんなでできることをはっきりさせて、みんなで実行する。回覧板などで伝える。

##### ○「全体」のレベル

共有する。そうすれば常識が保たれる。

##### 2. 自分たちができること・取り組めること

○学校でスマホについて今の使い方や、モラル・マナーなどのアンケートを採る。

○生徒会活動によって学校全体で考える時間をつくる。

##### 3. 社会への発信

○高校生がこのようなスマホとのつきあい方を「社会」や「国」に提言する。

#### 【長野県飯山高等学校】

キャッチフレーズ：「全校参加型生徒会」

## 1. ネット・スマホの問題点と ICT を活用した改善策

### ○問題点1 個人情報漏洩

→改善策 パスワードを定期的に変更する。顔で認証するアプリがあるといい。

### ○問題点2 誹謗中傷・トラブル

→改善策 マナー・モラルの向上。書き込み内容を制限するしくみがあるといい。

### ○問題点3 使用時間

→改善策 ネット等への書き込み時間を制限するしくみやアプリがあるといい

## 2. 飯山高校生徒会としてできること

### ○全校全体で使用できるアカウントをつくる

・全校参加の生徒会活動を目指す。みんなが身近に ICT を使いながら使い方を考える・このアカウントをつかって自分たちがネットの自由さと恐さを模擬的に体験する

○利用している人の経験・失敗を共有していくことで全校の関心を高めたい。

### 【長野県北部高等学校】

キャッチフレーズ：「みんなで目指そうリア充！」

○再度、ICTの光と影について考え合い、まとめた。

【光】…誰とでもつながれる。・わからないことはすぐに調べられる。・どこでも音楽が聞ける。・いつでもどこでも買い物ができる。・最新の情報が得られる。

【影】…信用できない。・知らない人とも会えてしまう。・目が悪くなる。・友だちとの会話が減る。・課金・悪口

○ICTの光も影も度利他も「スマホ依存」に結びついていく。問題は友だちが減っていくこと。

○音楽・ゲーム、ネット友、ツイッターなど、スマホに頼った暇つぶし、この幸福の見直しが大切。

○スマホ依存を治して、「リア充」になろう。

〈Q質問〉 今後、保健委員としては具体的にどんな取組ができそうか？

〈A〉 できるだけ友だちを作って、コミュニケーションをとり、スマホを使わないようにする呼びかけ。

### 【長野県豊科高等学校】

○再度、ICTのメリットとデメリットについて熟議を重ねた。

#### 【メリット】

・生徒会のグループラインで人の招集が簡単になった。・お店に行かなくても商品が買える。・アプリを使って勉強ができる。

#### 【デメリット】

・SNSに投稿された動画の人物が特定されてしまう。・LINEでの会話で誤解されてしまった。

#### 【よりよい活用は…？】

・災害時の幅広い情報提供・仕事への活用

【改善点は…？】

・ SNSアカウントの非公開・個人情報の保護・情報の取捨選択・発信情報の再確認・目を離して使う・大切なことは直接会って話す・フィルタリング

〈Q質問〉実際にICTを活用していて、「もっとこうなるといいなあ」「もっとこんな使い方ができるといいなあ」と思うことはどんなことか？また、改善点を踏まえて、まずはどんなことから取り組みたいか？

〈A〉 スマホ依存の解消につながるようなアプリの開発。自分でも、依存症にならないようにしていきたい。

【長野県長野商業高等学校】

キャッチフレーズ：「長商デパートにお客さんを呼びたい。」

自校の特色を生かして、ICTの活用のあり方について考えた。

○「長商デパートにお客さんを呼びたい。」

↓

○「しかし…、広告・宣伝には費用がかかる。

また、お客さんが大勢来ても駐車場が混雑してしまう。」

↓

○「そうだ、SNSを使おう！」

↓

○「でも…、炎上したら…個人情報が流出して決まったら…従来の常識が壊れていく…乱視になる 誤情報の危険 アカウントの乗っ取り…危険がたくさん！」

↓

○「でも、それ以上に…多くの情報が得られる。情報の共有がしやすい。お客様の本音分かる。経費削減になる。リアルタイムで、口コミ効果がある。

↓

○「だから、正しく使えば…満足度向上！売上向上！」

↓

○「お客さんも、社員も心豊かに！！」

〈Q質問〉 SNS等の活用は効果的だが、危険性についてはどのように防げばよいと考えるか？

〈A〉 情報発信時は、第三者の目を一度通すなど、確かな情報発信を心がける。

《講評》

(茨城県メディア教育指導員連絡会 会長 堤 千賀子氏)

昨年度はカンファレンスで学んだことを下の世代に伝えていきたい、という発表が多くありました。今年はさらに仲間に伝えたい、地域に広げたいという意見も聞かれとても感心しました。

本日はICTの利活用についてそのメリットやデメリットについて多くの話し合いが行われたと思います。発表の中では「心豊かな生活」のためのアイデアや提案

	<p>が少なかつたのが少し残念でしたが、更に時間をかけて話し合い、発想を膨らませることで色々なアイデアが出てくると思います。</p> <p>学校に戻ってから更に話し合いを行い、その成果を、次世代に、そして地域に発信して行ってください。</p> <p><b>《閉会式、サミット代表発表》</b></p> <p>(サミット代表 長野県高遠高等学校 田中 玲矢 さん)</p> <p>長野県代表として、自分が学んだこと等を全国に伝えていきたいです。</p> <p>(閉会のあいさつ 長野県教育委員会 心の支援課長 小松 容氏)</p> <p>今日の話し合いで考え感じたことで、高校生のみなさん自身ができることから、まずは始めてみて下さい。みなさん自身が学内外のリーダーとなって、話し合いや情報発信を更に進めていただけることを期待しています。本日は長時間の熟議と発表、お疲れ様でした。</p>
<p>参加校：</p>	<p>長野県明科高等学校  長野県長野東高等学校  長野県長野西高等学校  長野県松本工業高等学校  長野県茅野高等学校  長野県駒ヶ根工業高等学校  長野県松本蟻ヶ崎高等学校  長野県松本県ヶ丘高等学校  長野県松本美須々ヶ丘高等学校  長野県高遠高等学校  長野県松川高等学校  長野県飯山高等学校  長野県北部高等学校  長野県豊科高等学校  長野県長野商業高等学校</p> <p>(順不同 15校)</p>
<p>日時：</p>	<p>2017年9月30日(土) 10:00-17:00</p>
<p>場所：</p>	<p>安曇野市明科公民館(長野県安曇野市明科中川手6824番地1)</p>
<p>参加人数：</p>	<p>熟議参加生徒 61人  見学者・関係者 45人(教員・教育関係者・その他)  合計：106人</p>
<p>熟議グループ：</p>	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p><b>【グループA】</b> 7名  松川高等学校2年女子、茅野高等学校3年女子、明科高等学校3年男子、長野西高等学校2年女子、高遠高等学校3年女子、長野東高等学校2年男子、松本県ヶ丘高</p>

等学校 2 年男子

〔ファシリテーター〕

長野県教育委員会心の支援課 大池 昌弘

【グループB】 7名

豊科高等学校 3 年男子、明科高等学校 3 年女子、飯山高等学校 2 年男子、高遠高等学校 3 年女子、北部高等学校 3 年女子、長野東高等学校 2 年男子、松本蟻ヶ崎高等学校 2 年女子

〔ファシリテーター〕

長野県教育委員会心の支援課 尾臺 博之

【グループC】 7名

松川高等学校 2 年男子、明科高等学校 3 年男子、長野西高等学校 2 年男子、松本工業高等学校 1 年女子、長野商業高等学校 3 年女子、松本蟻ヶ崎高等学校 2 年女子、松本県ヶ丘高等学校 1 年女子

〔ファシリテーター〕

長野県県民文化部次世代サポート課 市川 格

【グループD】 7名

松川高等学校 2 年女子、茅野高等学校 3 年女子、明科高等学校 3 年男子、長野西高等学校 2 年女子、松本美須ヶヶ丘高等学校 2 年女子、高遠高等学校 3 年男子、長野東高等学校 2 年男子

〔ファシリテーター〕

上田市教育委員会 矢澤 智都枝

【グループE】 7名

松川高等学校 2 年男子、明科高等学校 3 年女子、長野西高等学校 2 年女子、高遠高等学校 3 年男子、長野商業高等学校 3 年女子、松本工業高等学校 1 年女子、長野東高等学校 2 年男子

〔ファシリテーター〕

長野県総合教育センター 藤澤 雅道

【グループF】 7名

松川高等学校 2 年女子、明科高等学校 3 年女子、長野西高等学校 2 年女子、高遠高等学校 3 年男子、長野商業高等学校 3 年女子、駒ヶ根工業高等学校 3 年男子、長野東高等学校 2 年男子

〔ファシリテーター〕

長野県野沢北高等学校 小林 嘉孝

【グループG】 7名

豊科高等学校 3 年女子、松本美須ヶヶ丘高等学校 2 年男子、松本工業高等学校 2 年

<p>女子、長野商業高等学校 3 年女子、駒ヶ根工業高等学校 2 年男子、飯山高等学校 2 年女子、明科高等学校 3 年女子</p> <p>〔ファシリテーター〕</p> <p>長野県教育委員会心の支援課 中村 充秀</p> <p>【グループH】 5名</p> <p>豊科高等学校 3 年女子、松川高等学校 2 年女子、明科高等学校 3 年男子、高遠高等学校 3 年男子、長野東高等学校 2 年男子</p> <p>〔ファシリテーター〕</p> <p>長野県県民文化部次世代サポート課 丸山 勝広</p> <p>【グループI】 5名</p> <p>松川高等学校 2 年女子、茅野高等学校 3 年女子、北部高等学校 3 年男子、長野東高等学校 2 年男子、松本県ヶ丘高等学校 1 年女子</p> <p>〔ファシリテーター〕</p> <p>長野県県民文化部くらし安全・消費生活課 新井 美雪</p> <p>【グループJ】 5名</p> <p>松川高等学校 2 年男子、飯山高等学校 2 年男子、松本工業高等学校 2 年女子、長野商業高等学校 3 年女子、松本県ヶ丘高等学校 2 年男子</p> <p>〔ファシリテーター〕</p> <p>総務省信越総合通信局 堀 浩人</p>
---

### 3. 主担当

安心ネットづくり促進協議会	事務局、庶務
ソフトバンク株式会社	運営アドバイザー
(一社) インターネットコンテンツ審査監視機構	企業講演
株式会社サイバーエージェント	企業講演
各地力団体、自治体等	ファシリテーター、受付 他庶務

(敬称略)

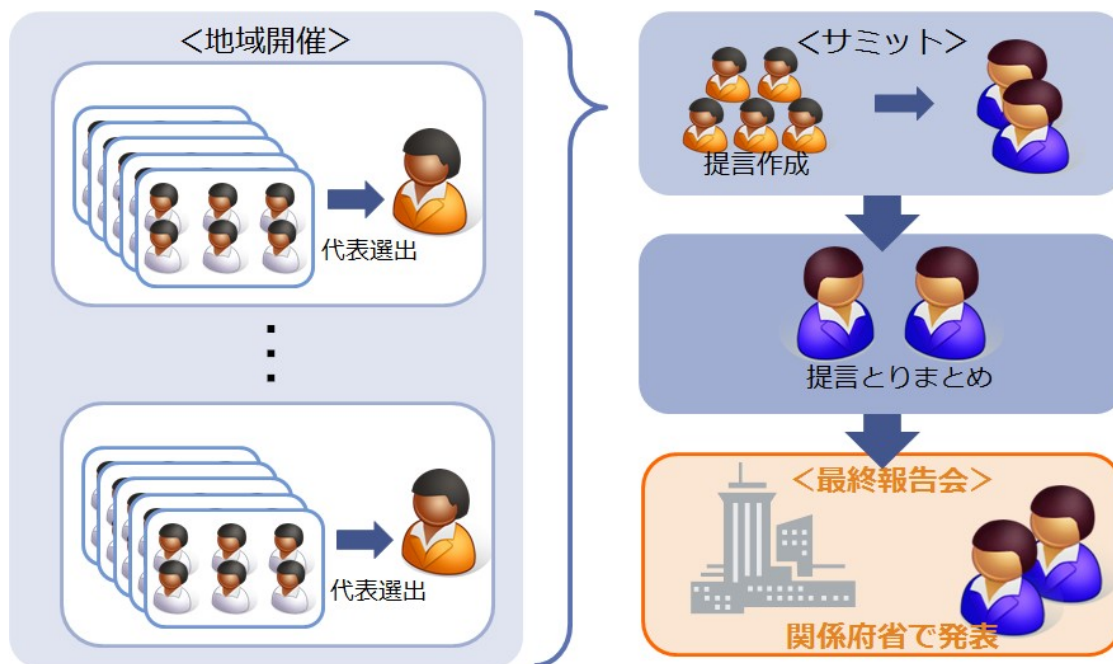
### 4. 高校生 ICT Conference 2017 サミット

高校生 ICT Conference 2017 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

## 5. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2017 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏る。



## 6. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2017 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2017 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上